

災害ボランティアに行ってきました



↑隊長：菅野

2月18日(日)~20日(火)、2泊3日でスタッフ2名、寮生ら3名で石川県志賀町にボランティアに行ってきました。ボランティアの受入れが2月に始まり、有志を募ってすぐさま出動!と思いきや、これまでとは勝手が違う…。事前登録の上、1週間ごとの予約制。断水が続く地域での宿泊が難しい関係で、活動当日は金沢駅集合で指定の大型バスで活動先へ移動する仕組み。よって、アルバイト中の寮生は直前の日程調整が難しく、社用車で直接現地に乗り付けることもできず、YSCの売りである機動力が全く生かせない想定外の事態に。

ボランティア希望者が殺到しているため、予約開始日時ジャストに予約フォームから入力している側からどんどん選択枠が減っていく中、何とか1日確保。危うく活動日が1週間以上先延ばしになるところでした。参加した寮生のみんな、なかなか日程が確定しない中、高いモチベーションを維持してくれてありがとう! (事務局長 菅野)

- Q1.どんな気持ちで参加しましたか?
- Q2.被災した地域を見て何を感じましたか?
- Q3.被災された方のお家に行き、作業や会話をする中で何を感じましたか?
- Q4.作業をする上で気をつけた事や大変だったことはありますか?
- Q5.最後に一言

<MZ君>

- ①被災した方の力になればと思った
- ②とても悲惨な状況で、胸が痛かった。
- ③前を向く姿に感銘を受けた。
- ④ケガをして、迷惑を掛けないように気をつけた。
また被災者の方にも失礼がないように気をつけた。
- ⑤貴重な経験をさせていただいた。

<KS君>

- ①困っている人を助けたいという一心で行った。
- ②テレビで被災地の様子を見て、知った気になっていた。
「大変だな」と他人事だった自分が恥ずかしい。
- ③被災された家のタンスを捨てる時に、「この家具にも色々な思い出があったらうに」と思っていたが、それでも前に進むしかないんだという気概を感じた。
- ④家具を運び出す時に、家の壁にぶつけないようにするのが大変だった。
ただ、皆で声を掛け合い、作業を分担することで効率的に運ぶことができた。
- ⑤もっと作業をして、復興の手伝いをしたかった。

<KD君>

- ①災害ボランティアには行ったことがなく、実際どういうものなのかを知りたかった。
- ②自分が普段生活していることは当たり前じゃないと感じた。
- ③快く我々を迎え入れてくれたことにほっとしたし嬉しかった。
- ④被災された方に迷惑を掛けないように、特に会話で失礼がないよう注意を払った。
- ⑤作業日数が少なかった事が心残り。

